

# 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようになる。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るために、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	93	49	44	7.4	16.5
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

## 2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	99	54.5	43.2	39.8	41.6	50.3	8.7	7.1	18.2	9.5	9.1
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	81	66.6	46.6	50.9	42.7	50.6	7.0	4.7	6.9	6.5	6.5
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	47.0	54.6	8.4	4.6	8.2	5.7	7.0
1月9日	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	45.9	54.0	9.3	5.2	9.5	6.6	7.9
1 年	学校	94	57.2	49.2	51.9	51.7	56.4	8.5	6.2	5.6	4.5	5.5
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
1月9日	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年	生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
3 年	学校	93	99.8	99.1	130.8
10月17日	大阪市	—	105.7	104.6	102.1

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
			85								
2 年 男 子	学校	28.35	25.12	40.26	50.00	71.59	—	8.12	194.64	21.03	39.54
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76	—	8.08	194.64	19.84	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98	—	7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	20.49	20.32	50.61	45.88	53.15	—	8.66	172.53	12.61	49.71
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98	—	9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67	—	8.96	166.32	12.40	47.37

## 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### ●全国学力・学習状況調査結果：3年生対象 【正答率・無回答率の大阪市・全国との比較】

〈国語〉

平均正答率：大阪市平均—7.0ポイント、全国平均—9.1ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+3.3ポイント、全国平均+3.5ポイント

〈数学〉

平均正答率：大阪市平均—7.0ポイント、全国平均—8.5ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+4.0ポイント、全国平均+5.2ポイント

#### 【生徒アンケート結果】

自己肯定感、道徳意識、将来、学習意欲に関するアンケートは、いずれも高水準である。※質問一部抜粋  
○自分には、よいところがあると思う。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**89.5%**、82.2%、83.3%

○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**100.0%**、95.2%、95.7%

○人の役に立つ人間になりたいと思う。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**100.0%**、95.6%、95.2%

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**90.7%**、76.0、76.1%

○分からないうことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**84.8%**、78.1、78.6%

○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる。

　　〈井高野、大阪市、全国〉**87.2%**、79.4、79.0%

#### 【成果と課題】

〈国語〉

全15問中、無回答率0.0%の問題が7問、無回答率10.0%未満の問題が4問と、積極的に解答する姿勢がみられる。また、知識・技能に関する問題では、情報の扱いや我が国の言語文化に関する事項の問題において、全国平均と同等の正解率となっている。しかし、思考力・判断力・表現力に関する記述式問題においては、無回答率が20%前後となり、自分の考えを書くこと、内容を要約すること、多用な表現方法を用いて表すことなどの問題に対策が必要である。

〈数学〉

全16問中、無回答率0.0%の問題が3問、無回答率10.0%未満の問題が9問と、積極的に解答する姿勢がみられる。また、知識・技能に関する問題では、全国平均の正解率を上回る問題が3問あった。関数やデータの活用に関する問題においても、全国や大阪府の正解率平均に近づいている。しかし、思考・判断・表現に関する記述式問題においては、5問中4問が無回答率40%以上となっており、記述式問題への対策が必要である。

#### 【今後に向けて】

〈国語〉

話し合いの中で、必要に応じて質問を交えながら話題や展開を捉え、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめ、資料等を用いてわかりやすく伝えられるようにする。また、文章の全体と部分の関係に注意して主張と例示等の関係を捉え、具体と抽象など、情報と情報の関係を理解し、目的に応じて必要な情報に着目して要約できるようにする。自分の考えを書く問題では、無回答の生徒が多く見受けられるため、主張したい内容を明確にし、自分の考えを言葉にできるようにする。そのうえで、表現技法の理解を深め、効果的な描写ができるようになる。漢字においては、朝学習や校内での漢字能力検定受検で定着を図る。

〈数学〉

日常の事象を数理的に捉え、解決の過程や結果を振り返って考察する活動を取り入れる。また、数量や図形及びそれらの関係、既習の知識などに着目して判断の根拠を明らかにし、数学的な表現を用いて筋道を立ててわかりやすく説明する活動を取り入れる。正しい数学用語を使い、正答を導きだすまでの過程を的確に表現するよう指導する。問題文を要約し、必要な項目・事柄を正確に読み取る力を育てる。学んだ数学の基礎的な知識・技能をもとに新たな性質や考え方を見出す活動を設定する。ICT等を利用し、データ、資料等を収集・整理し、それらを基にデータ分布の特徴・傾向を読み取り、判断し表現する活動を取り入れる。

〈全体〉

現在の、子どもが授業や教科を好きだと思える気持ちや、学習内容を実生活へ活かせる長所を残しながら、基礎学習の反復と、記述問題への取組に力を入れることにより得点力の向上を図る。今後もICTを取り入れた授業や学力向上支援センター（学びセンター）を効果的に活用しながら、子どもたちへわかりやすい授業を展開しする。

## 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### ●中学生チャレンジテスト(3年生)結果

##### 【大阪市・大阪府との平均点・無回答率の比較】

〈国語〉

平均点：大阪市平均-10.9ポイント、大阪府平均-10.7ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+3.8ポイント、大阪府平均+3.4ポイント

〈社会〉

平均点：大阪市平均-7.0ポイント、大阪府平均-7.2ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+2.4ポイント、大阪府平均+2.1ポイント

〈数学〉

平均点：大阪市平均-9.0ポイント、大阪府平均-9.3ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+3.9ポイント、大阪府平均+3.4ポイント

〈理科C〉

平均点：大阪市平均-10.5ポイント、大阪府平均-10.7ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+5.4ポイント、大阪府平均+5.1ポイント

〈英語〉

平均点：大阪市平均-3.7ポイント、大阪府平均-3.3ポイント

平均無回答率：大阪市平均+2.6ポイント、大阪府平均+2.2ポイント

#### 【成果と課題】

5教科ともに、大阪市や大阪府の平均点を下回る結果となったが、英語については、ほぼ平均点と差のない結果となった。基礎学力に課題がみられるため、全体的な学力の底上げが必要である。一方で、自分の考えや意見を表現する力は優れており、この点は今後の学びにおいて大きな強みとなる。ただし、ルールや形式に沿って伝える力には改善の余地があり、この点を意識した取組が求められる。

また、無回答率が低い点からは、課題に対して意欲的に向き合う姿勢がみられる。この意欲を大切にしながら、基礎の走着と表現力のバランスを意識した学習を進めていくことが重要である。反復学習の継続や習慣化のほかに、短期、中期、長期に分けて計画を立て、達成すべき目標を可視化して取り組むなど、子ども達の学習意欲を大切にしながら、全体的な学力の底上げに努めたい。記述式問題に対しては、出題形式や問われている内容を理解し、必要なキーワードを適切に組み合わせて簡潔に伝える文章を意識する必要がある。多くの記述式問題に取り組み、解答例を参考にしながら、自分の考えや意見を形式に沿って簡潔に解答する力を付けたい。

#### ●中学生チャレンジテスト(2年生)結果

##### 【大阪市・大阪府との平均点・無回答率の比較】

〈国語〉

平均点：大阪市平均+0.5ポイント、大阪府平均+1.1ポイント  
平均無回答率：大阪市平均-1.4ポイント、大阪府平均-2.3ポイント

〈社会A〉

平均点：大阪市平均-3.3ポイント、大阪府平均-2.9ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+0.1ポイント、大阪府平均-0.5ポイント

〈数学〉

平均点：大阪市平均-0.5ポイント、大阪府平均+0.2ポイント  
平均無回答率：大阪市平均-1.3ポイント、大阪府平均-2.6ポイント

〈理科A〉

平均点：大阪市平均-4.3ポイント、大阪府平均-3.2ポイント  
平均無回答率：大阪市平均+0.8ポイント、大阪府平均-0.1ポイント

〈英語〉

平均点：大阪市平均-4.0ポイント、大阪府平均-3.4ポイント  
平均無回答率：大阪市平均-0.5ポイント、大阪府平均-1.4ポイント

#### 【成果と課題】

国語科においては大阪市・大阪府双方の平均点を上回る好成績となった。唯一「書くこと」において、わずかに大阪市・大阪府の平均を下回ったものの、その他の項目は全て大阪市・大阪府の平均を上回った。「書くこと」についても、設問別に見れば大阪市・大阪府の平均を上回るポイントを得点するものもあり、無回答率はいずれも双方の平均を下回っている。記述式問題の正解率が高く、無回答率も低くなっていることから、書く力がついてきている様子が見える。また、今年度初の試みとなつた日本漢字能力検定受検に向けての、朝学や総合授業での学習が国語への学習意識向上に繋がったと考えられる。今後も引き続き、学習意欲を高めながら、語彙力や読解力、表現力の向上に努めたい。

数学科においては、大阪市の平均点を0.5ポイント下回ったものの、大阪府の平均を上回った。学習指導要領の区分では、いずれも大阪府の平均を上回り、大阪市と同等の平均点となっている。思考・判断・表現問題の正解率は高いが、知識・技能問題の正解率がやや低く、基礎問題への課題が見られる。また、関数問題の平均点も低い。今後は、数学の基本的な概念や公式の理解を深め、類似問題を繰り返し解くなど基礎固めに努めたい。また、関数グラフを描く練習をすると、関数のグラフの特徴や、変数の関係性への理解を深めたい。

社会科、理科、英語科は、いずれも大阪市・大阪府の平均点を下回った。しかし、すべての教科で無回答率が大阪府平均を下回り、積極的に解答する姿勢を見ることができた。

社会科においては、「地理的分野」の平均正解率は大阪市・大阪府の平均を上回っている。しかし「歴史的分野」は-3.0ポイント下回っており課題が見られる。今後は、重要な出来事や、人物、年号を整理して時系列で理解し、関連性のある出来事を結びつけて覚えていく必要がある。教科書を読み込んだり、ワークや過去問を定期的に復習したりすることで、記憶の定着に努めたい。

理科においては、「粒子」の分野に課題が見られる。粒子の状態や性質について理解し、図や模型を活用し、粒子の動きや状態変化について理解を深めたい。また、化学反応の種類や特徴、反応の進行方向や条件を理解し、基本的な科学反応式などは覚え、計算問題にも対応できるようにしたい。

英語科においては、「読むこと」の分野では大阪市・大阪府の平均点を上回り、「聞くこと」の分野でも大阪市・大阪府と同等の平均点となっている。しかし「書くこと」の分野ではすべての設問が平均点を下回っている。今後は、聞く力や、読む力を活かし、出題の趣旨に沿った形で英文が書けるよう力をつけてほしい。長い英文よりも、短く簡潔に内容を伝える英文を書くことを意識させたい。また、会話文の問題では、よく使われるフレーズや表現を覚え、会話の流れや文脈を理解して適切な言葉を選べるようにしたい。

調査結果から

●中学生チャレンジテスト(1年生)、大阪市版チャレンジテストplus(1年生)結果

【正答率・無回答率の大阪市・大阪府との比較】

〈国語〉

平均点：大阪市平均-1.8ポイント、大阪府平均-1.3ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+0.2ポイント、大阪府平均-0.9ポイント

〈社会(plus)〉

平均点：大阪市平均-4.5ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+0.7ポイント

〈数学〉

平均点：大阪市平均+1.4ポイント、大阪府平均+2.1ポイント  
平均無解答率：大阪市平均-1.8ポイント、大阪府平均-3.2ポイント

〈理科(plus)〉

平均点：大阪市平均-3.9ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+0.7ポイント

〈英語〉

平均点：大阪市平均-5.7ポイント、大阪府平均-5.1ポイント  
平均無解答率：大阪市平均+0.6ポイント、大阪府平均+0.3ポイント

【成果と課題】

国語科においては、大阪市・大阪府の平均点をわずかに下回った。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」の設問では、ほぼすべてが大阪市・大阪府の平均点を上回り、古文への理解が深まっている様子が窺える。また、学指導要領のいずれの分類においても大阪市・大阪市の平均点と同等の平均点を得点していることや、知識・技能の設問においては、大阪府の平均点を上回っていることから、国語の基礎知識がついていると考えられる。しかし、筆者の考えを理解し、本文の内容に適した答えを導き出す問題の正解率や、必要な情報を整理し内容や自分の考えをまとめる問題の正解率が低いことから、読む力や書く力に課題が見られる。今後も、学校図書館や学級文庫を活用し、様々なジャンルの本や文章にふれ、その内容を簡単に要約するなどして、筆者の考え方や主となる内容を読み解く力をつけたい。また、自分の考え方を書く力を持つために、ニュースを見たり、本を読んだりした際に、自分なりの意見や他の人の意見を聞いてみるなど、日常的に物事について考える意識を持たせたい。わからない単語や表現が出てきた際は、辞書などで調べる習慣をつけることで、語彙力の向上にも努めたい。

数学科においては、大阪府・大阪市双方の平均点を上回る好成績となった。学習指導要領の分類では、いずれも大阪市・大阪府の平均を上回り、平均無回答率も5.6%と低い数値となった。知識・技能の設問においては、大阪市・大阪府の正解率を大きく上回るものが多く、基礎的な数学の力がついていると考えられる。しかし、图形に関する設問が、他の設問と比べ正解率が低く課題が見られる。图形問題では、特に作図問題の正解率が低い。基本的な图形に関する理解はできているため、問題の意図をしっかりと把握し、作図の手順や条件について考えて解答できるようにしたい。問題集や過去問などで繰り返し問題を解くことで、典型的なパターンを習得し图形に対する理解を深めたい。

社会科(plus)においては、大阪市の平均点を4.5ポイント下回った。領域別に大阪市の平均正解率と比較すると、地理分野は大阪市平均を5.0ポイント、歴史分野は3.9ポイント下回った。また、知識・技能に関する設問は3.6ポイント、思考・判断・表現に関する設問は6.4ポイント下回る結果となった。このことから、地理・歴史共に基礎的な内容の理解と、定期的な復習による知識の定着が必要であると考える。ただ用語を暗記するだけではなく、地図帳などを用いて、位置や自然の特徴、気候などを視覚的に覚えたい。また、地理と歴史には繋がりがあるため、歴史の出来事がどの地域で起こり、どのような地理的背景があったのかなどを関連付けて考えることで理解を深めたい。

理科(plus)においては、大阪市の平均点を3.9ポイント下回った。領域別に大阪市の平均正解率と比較すると、粒子分野は大阪市平均を0.5ポイント上回ったものの、生命分野は6.9ポイント下回った。また、知識・技能に関する設問は4.5ポイント、思考・判断・表現に関する設問は2.9ポイント下回る結果となった。内容別にみると、「身近な生物の観察」「動物の分類」「気体・水溶液の性質」については60%近い正解率となっており理解が進んでいることが窺える。しかし、「植物の分類」「身のまわりの物質とその性質」については、40%を下回る正解率となっていることから、基礎知識や理解不足が見受けられる。「植物の分類」については、各植物の特徴をまとめ直したり、分類図や表を使って、植物の分類を視覚的に覚りすることで、代表的な植物がどの分類に属するのかなどの理解を深めたい。「身のまわりの物質とその性質」については、物質の分類と性質を整理し、基礎的な用語とその意味をしっかりと覚えたい。また、実験では、どのような変化が起こり、その結果が何を意味するのかを考え、理解を深めたい。

英語科においては、大阪市・大阪府双方の平均点を約5ポイント下回った。しかし、リスニング問題は、大阪市・大阪府の正解率を上回る設問も多く、聞く力がついている様子が窺える。また、会話文の正しい文法を答える設問や、内容の要点を把握する設問の正解率は多くが65%を上回っており、日常的な英会話文の理解ができるていると考えられる。「読むこと」「書くこと」に関する設問の多くが、大阪市・大阪府の平均正解率を下回っていることから、読み解く力や単語力、正しい文法を書く力に課題が見られる。まずは、基礎的な文法を復習し、日常的に使われる単語やフレーズを覚えることで、文法理解と語彙力の向上に努めたい。また、わからない単語が出てきた際は、前後の文脈から推測して意味をつかむ練習を繰り返すことで、文章全体の内容をとらえる意識を持ち、主語や動詞、目的語を素早く見つけることで、長文を読み進める力をつけたい。

●大阪市英語力調査(GTEC)：3年生対象

【成果と課題】

〈読むこと(リーディング)〉

短い簡単な文章をいくつかの「意味のまとめ」ごとに区切りながら、返り読みをせずに英文を読み進める力はついている。次は、簡単な文章の大まかな流れを理解するために、後戻りせずに1文1文をつないで文章の流れをつかみながら、全体のイメージを大きくとらえて演習を行っていく。

〈聞くこと(リスニング)〉

馴染みのある表現において必要な情報を聞き取る力はついている。次は英文を聞いて、意味のまとめごとに区切り、状況をイメージして全体の意味をとらえる力をつけていく必要がある。まとめごとに状況を思い浮かべたり、状況を表すイラストを選択したりする問題などに取り組んでいく。

〈書くこと(ライティング)〉

1つのテーマで3文程度書く力はついてきている。次は、基礎的な英文をつなげて短い文章を書く力をつけていく必要がある。「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「どのように」などの観点でアイデアを連想して、英文にする問題などに取り組んでいく。

〈話すこと(スピーチング)〉

自分に関する話題について、馴染みのある表現を使って、質問したり答えたりする力はついてきている。次は、簡単な質問に対して、簡単な語句や定型表現を使って、その場で答えるような練習を積み重ねていく。

調査結果から

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【男子】

＜握力＞

平均値：大阪市平均-0.03kg、全国平均-0.6kg

T得点：大阪市平均±0ポイント、全国平均-0.8ポイント

＜上体起こし＞

平均値：大阪市平均-1.3回、全国平均-0.82回

T得点：大阪市平均-2.1ポイント、全国平均-1.3ポイント

＜長座体前屈＞

平均値：大阪市平均-2.48cm、全国平均-4.21cm

T得点：大阪市平均-2.2ポイント、全国平均-3.7ポイント

＜反復横とび＞

平均値：大阪市平均-1.50点、全国平均-1.51点

T得点：大阪市平均-1.6ポイント、全国平均-1.6ポイント

＜20mシャトルラン＞

平均値：大阪市平均-8.17回、全国平均-7.39回

T得点：大阪市平均-3.2ポイント、全国平均-2, 9ポイント

＜50m走＞

平均値：大阪市平均+0.04秒、全国平均+0.13秒

T得点：大阪市平均-0.4ポイント、全国平均-1.4ポイント

＜立ち幅跳び＞

平均値：大阪市平均±0cm、全国平均-2.54cm

T得点：大阪市平均±0ポイント、全国平均-0.8ポイント

＜ハンドボール投げ＞

平均値：大阪市平均+1.19m、全国平均+0.46m

T得点：大阪市平均+1.9ポイント、全国平均+0.7ポイント

＜体力合計点＞

平均値：大阪市平均-1.56点、全国平均-2.32点

T得点：大阪市平均-1.4ポイント、全国平均-2.1ポイント

【女子】

＜握力＞

平均値：大阪市平均-2.5kg、全国平均-2.69kg

T得点：大阪市平均-5.3ポイント、全国平均-5.7ポイント

＜上体起こし＞

平均値：大阪市平均-1.89回、全国平均-1.24回

T得点：大阪市平均-3.2ポイント、全国平均-2.1ポイント

＜長座体前屈＞

平均値：大阪市平均+4.97cm、全国平均+4.14cm

T得点：大阪市平均+4.6ポイント、全国平均+3.8ポイント

＜反復横とび＞

平均値：大阪市平均+0.02点、全国平均+0.23点

T得点：大阪市平均±0ポイント、全国平均+0.3ポイント

＜20mシャトルラン＞

平均値：大阪市平均+0.17回、全国平均+2.48回

T得点：大阪市平均+0.1ポイント、全国平均+1.3ポイント

＜50m走＞

平均値：大阪市平均-0.35秒、全国平均-0.30秒

T得点：大阪市平均+3.9ポイント、全国平均+3.3ポイント

＜立ち幅跳び＞

平均値：大阪市平均+5.52cm、全国平均+6.21cm

T得点：大阪市平均+2.0ポイント、全国平均+2.2ポイント

＜ハンドボール投げ＞

平均値：大阪市平均+0.57m、全国平均+0.21m

T得点：大阪市平均+1.3ポイント、全国平均+0.5ポイント

＜体力合計点＞

平均値：大阪市平均+2.20点、全国平均+2.34点

T得点：大阪市平均+1.9ポイント、全国平均+2.0ポイント

【成果と課題】

＜男子＞体力合計点は、大阪市平均値を1.56点、全国平均値を2.32点下回る結果となった。種目別に見ると、「ハンドボール投げ」は大阪市と全国の平均を共に上回ったものの、その他の種目においては、大阪市と全国の平均をすべて下回る結果となった。T得点(偏差値)で見ると、特に「長座体前屈」「20mシャトルラン」の数値が大阪市・全国の平均を大きく下回っており、課題が見られる。柔軟性を高めるためには、ストレッチの前後にウォームアップをしたり、股関節や太ももの裏側の筋肉を意識したストレッチを継続的に行っていく必要がある。また、シャトルランは、短距離のスプリント力(全力疾走する力)が求められるため、短距離ダッシュを繰り返し行ったり、下半身の筋力を強化する運動を取り入れたりすることも有効であると考える。持久力を高めるためにランニングなどの有酸素運動を取り入れ、心肺機能の向上にも努めたい。

生徒質問アンケートの結果では、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と、肯定的な回答をする生徒が97.1%と高い数値を示しており、体を動かすことの楽しさや運動やスポーツへの好意的な様子が窺える。また、運動やスポーツが大切なものであると回答する生徒が91.7%、中学を卒業した後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと回答する生徒が88.9%と、運動の必要性を十分に理解していると考えられる。しかし、1週間の総運動時間数をみると、60分未満の生徒の割合が19.4%と、大阪市平均を6.1%、全国平均を10.2%上回る結果となっている。だが、内訳をみると1週間の総運動時間を0分と回答している生徒が19.4%となっており、自分が運動をしているという意識を持っていない生徒が多いと考えられる。部活動や地域のスポーツクラブでの運動だけでなく、気軽に取り入れられる、ストレッチや、休み時間の外遊び、ウォーキングやサイクリングなども運動であるという意識を持たせ、日常的な運動量の向上に努めたい。

＜女子＞体力合計点は、大阪市平均値を2.2点、全国平均値を2.34点上回る好成績となった。種目別にT得点(偏差値)を見ると、「長座体前屈」「50m走」「立ち幅とび」の数値が、大阪市と全国の平均を大きく上回る結果となった。しかし、「握力」の数値は約5ポイント、「上体起こし」の数値は2~3ポイント下回る結果となった。握力を鍛える方法として、腕立て伏せや懸垂が有効であるが、まずはタオル絞りやボールなどを指で挟んだり、指先でつまむ練習をしたりすることで握力の向上に努めたい。上体起こしの回数を増やすには、腹筋の強化や持久力をつけることが有効である。また、正しいフォームで行なうことが重要であるため、腰を反らせ過ぎていないか、腹筋を意識して上体を起こすことができているかなど、フォームの確認にも気をつけたい。

生徒質問アンケートの結果では、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と、肯定的な回答をする生徒が81.1%と、大阪市平均を7.2%、全国平均を4.2%上回る結果となった。1週間の総運動時間も、60分未満の生徒の割合が15.7%と、大阪市平均を12%、全国平均を5.7%下回る結果となっており、運動やスポーツに対する好意的な様子や、日常生活への定着が窺える。今後も引き続き、運動やスポーツを日常生活に取り入れ、体力向上に努めたい。

また、体力の向上や筋肉作りには、運動以外にも、睡眠やバランスの取れた食事が重要である。睡眠時間は、中学生の理想的な睡眠時間とされる8時間以上の睡眠をとれている生徒が、男子は38.9%と大阪市平均を3.1%、全国平均を2.6%上回っている。女子は49.1%と大阪市平均を22.5%、全国平均を27.4%大きく上回る結果となっている。しかし、毎朝朝食を食べていると回答した生徒は、男子が72.2%と大阪平均を4.6%、全国平均を9.4%下回る結果となっており、女子においては、60.4%と大阪市平均を7.7%、全国平均を14.0%大きく下回っている。今後も、睡眠やバランスの取れた食生活の重要性を伝えることで、しっかりと睡眠や朝食を摂るよう促したい。継続的な運動が体力向上やからだ作りに有効なため、個人のペースにあった運動量や頻度で、日常生活に取り入れていきたい。

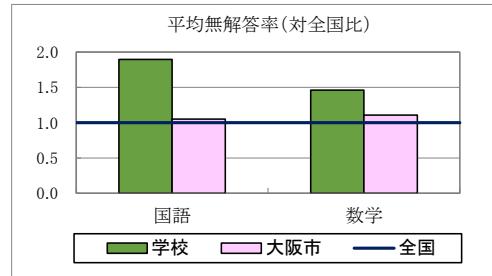
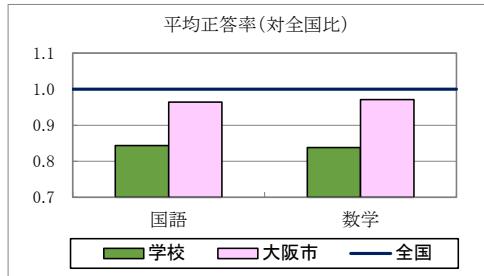
令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	49	44
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

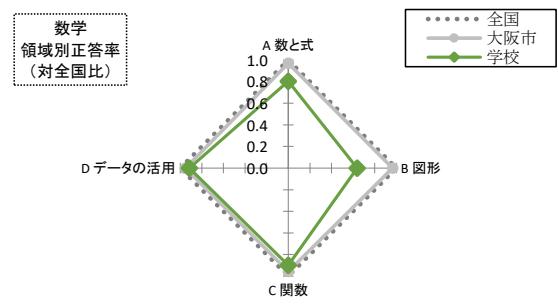
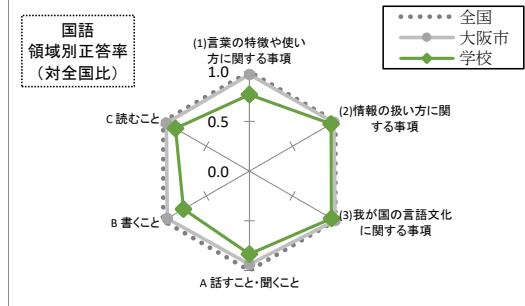
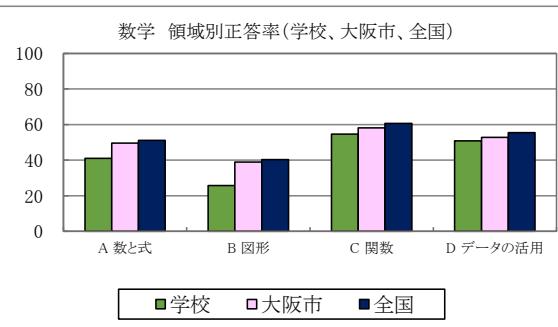
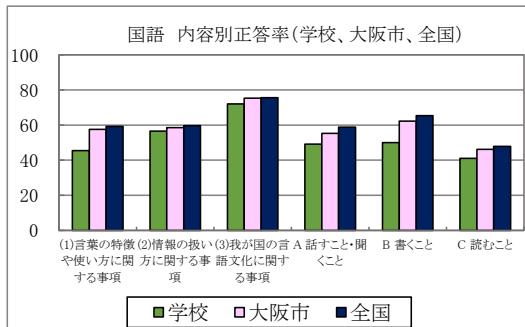
平均無解答率(%)	
国語	数学
7.4	16.5
4.1	12.5
3.9	11.3



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	45.5	57.5	59.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	56.5	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	72.0	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	49.1	55.2	58.8
B 書くこと	2	50.0	62.2	65.3
C 読むこと	4	41.1	46.2	47.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	41.1	49.6	51.1
B 図形	3	25.7	38.9	40.3
C 関数	4	54.6	58.1	60.7
D データの活用	4	50.8	52.8	55.5



# 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

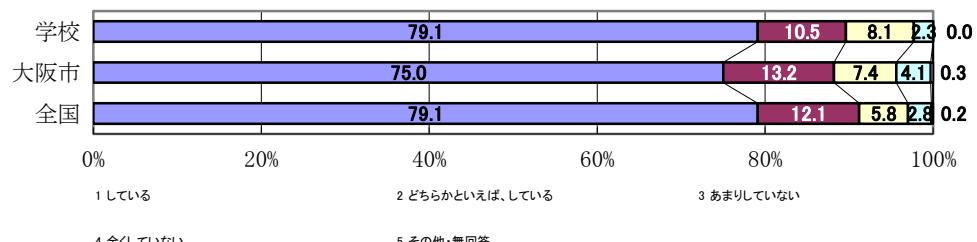
## 生徒質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

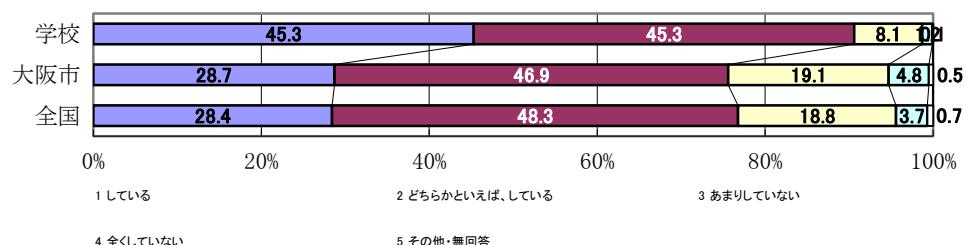
1

朝食を毎日食べていますか



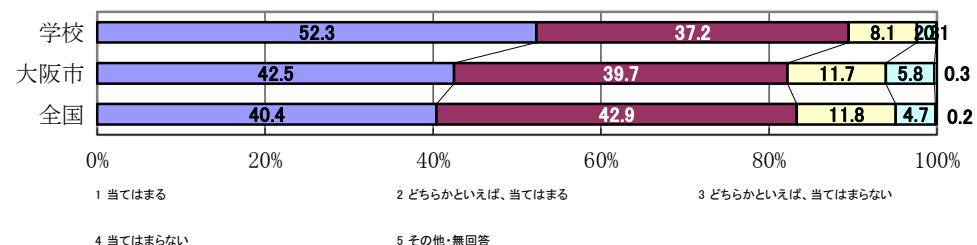
8

健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



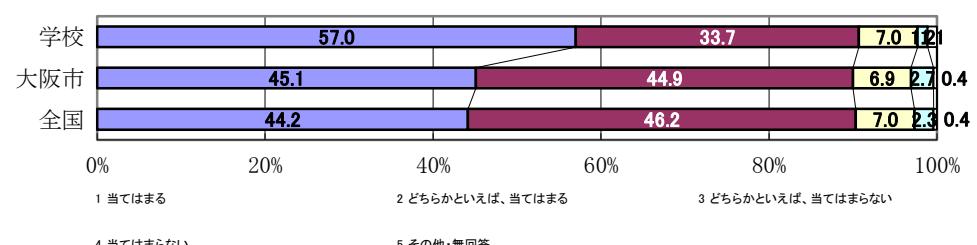
9

自分には、よいところがあると思いますか



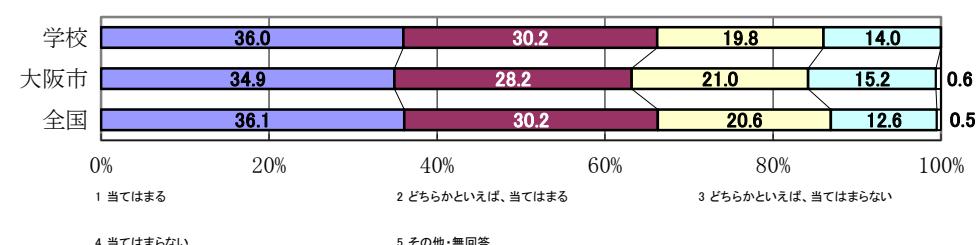
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



**令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

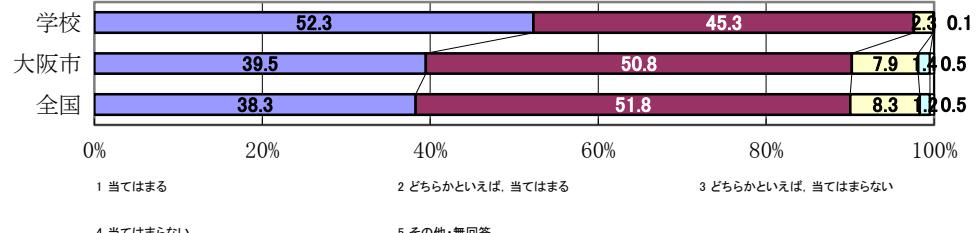
**生徒質問より**

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

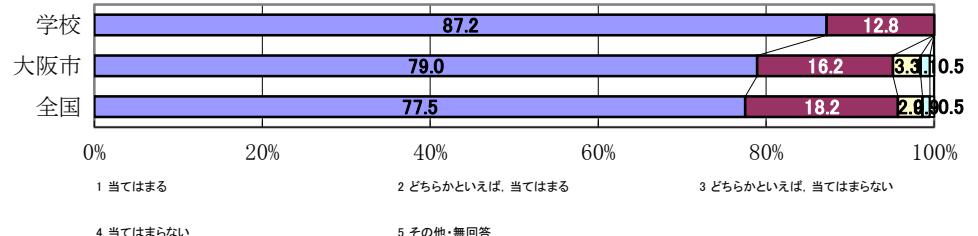
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



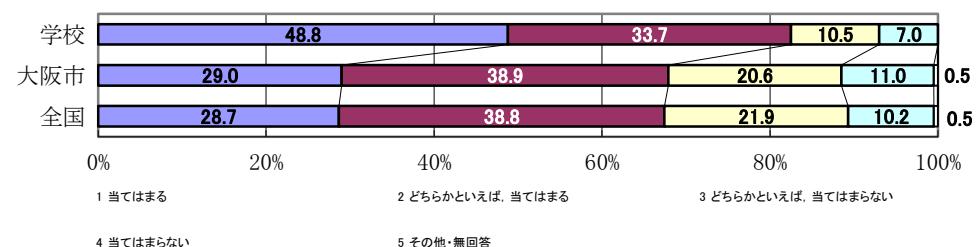
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



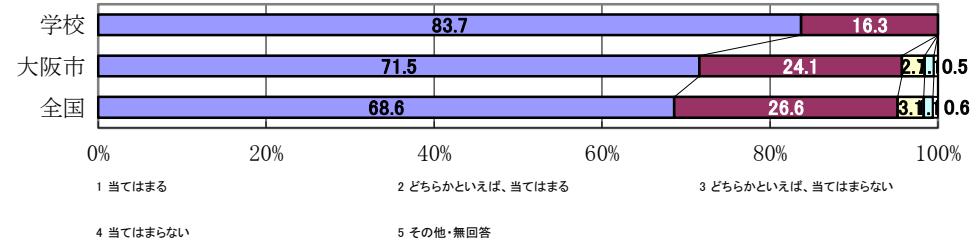
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



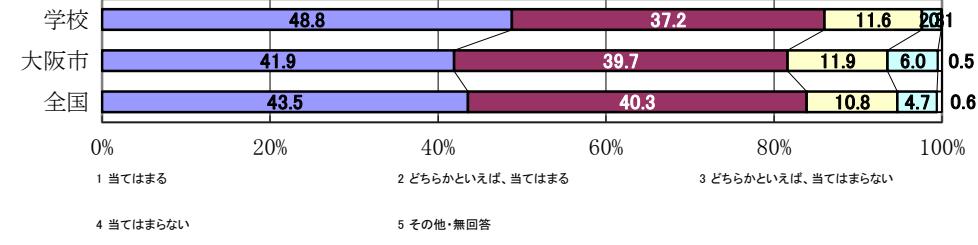
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



## 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

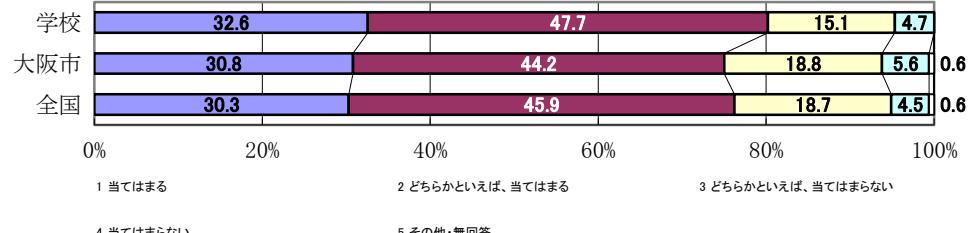
### 生徒質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

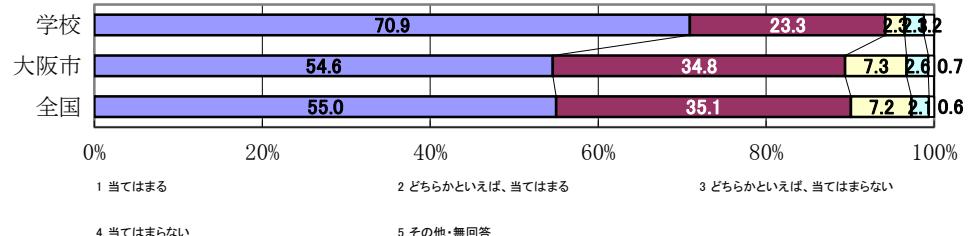
17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



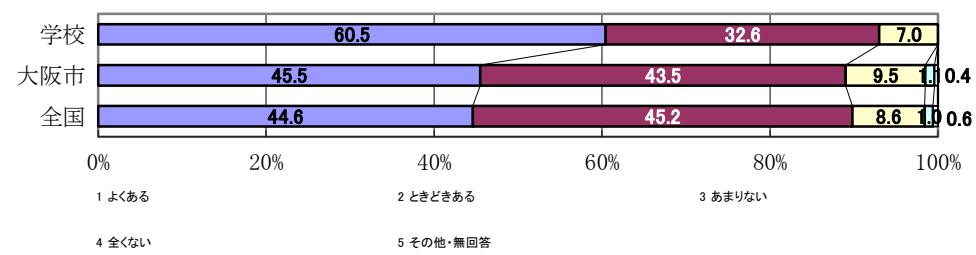
18

友達関係に満足していますか



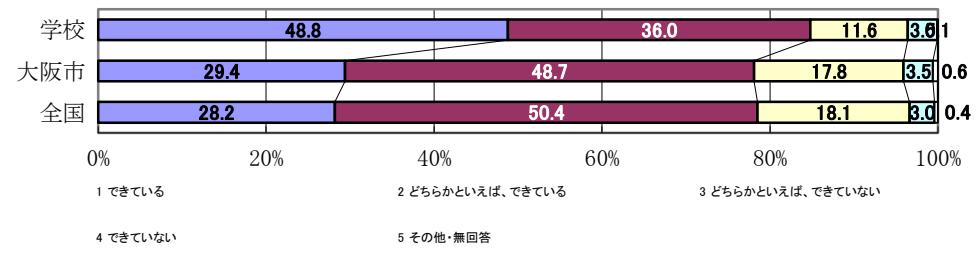
19

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



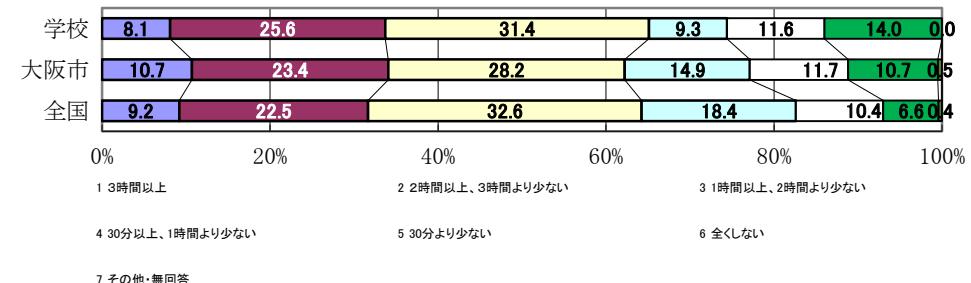
20

分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



## 令和6年度 大阪市立井高野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

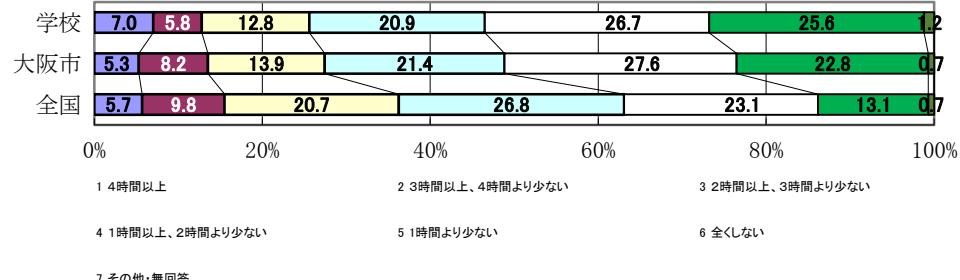
### 生徒質問より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

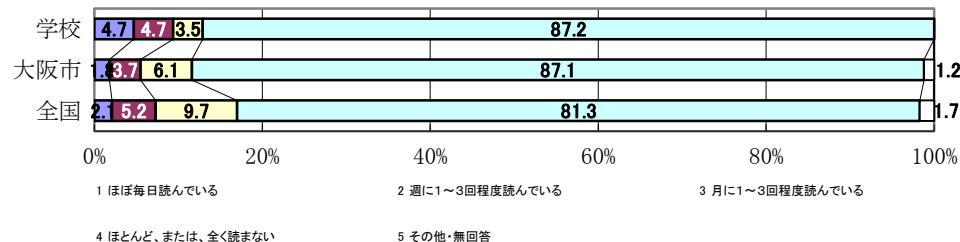
**22**

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



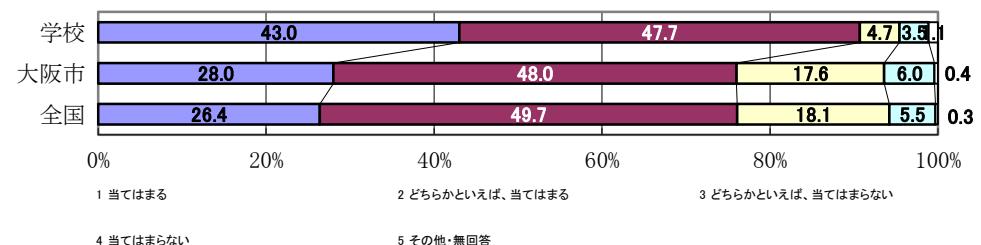
**24**

新聞を読んでいますか



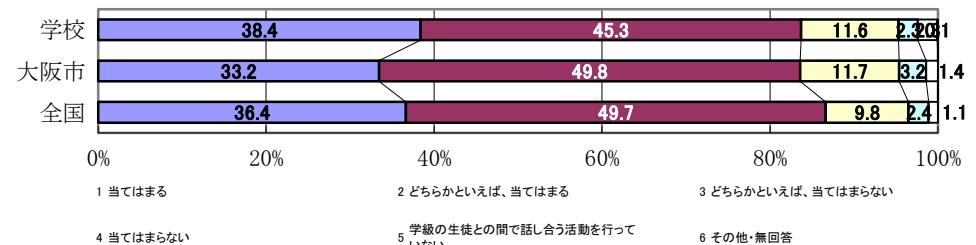
**25**

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



**33**

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



**35**

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

